

科目	歴史 (History)		
担当教員	福田 敬子 教授		
対象学年等	電子工学科・1年・通年・必修・2単位 (学修単位I)		
学習・教育目標	C3(100%)		
授業の概要と方針	困難な日本の転換期といわれる今日を理解する上で、過去の新時代が形成された時点を検証したい。戦国期から幕藩体制の成立に着目して、具体的事実の面白さを史料や図表から読み取り、想像力と創造力をつけて、豊かな教養を身につける契機になってくれればと思う。		
	到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準
1	【C3】 基本的な史実を把握した上で、各事件の特徴および歴史的事象の関連が理解できる。		中間試験および定期試験で評価する。
2	【C3】 授業計画に従い戦国期から幕藩体制の成立を中心に学習するが、信長・秀吉・家康の個性を知る。		中間試験および定期試験で評価する。
3	【C3】 史料を読んでその内容を理解し、図や表により歴史理解を深める。		中間試験および定期試験で評価する。
4	【C3】 教科書表紙の裏、「古代の行政区画」の地図作成を夏休みの課題とする。国名・県境・県名・県庁所在地名を、それぞれ色分けして、見やすいように1枚に作成し(大きさはA3以下)、現在の日本の府県を再確認する。		「古代の行政区画」の地図作成を夏休みの課題とし、国名・県境・県名・県庁所在地名を、それぞれ色分けして、見やすいように1枚に作成した(大きさはA3以下)提出物で評価する。
5			
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	成績は、試験85%、「古代の行政区画」地図の提出15%、として評価する。なお、試験成績は、中間試験と定期試験の平均点とする。100点満点で60点以上を合格とする。		
テキスト	『詳説日本史』石井進・五味文彦・笹山晴生・高埜利彦ほか著(山川出版社) 『最新日本史図表』外園豊基編集代表(第一学習社)		
参考書	『日本史B用語集』(山川出版社) 『角川日本史辞典』(角川書店)		
関連科目	歴史(2年)・日本史(5年)・世界史(5年)		
履修上の注意事項	・教科書を授業前に読んでおくことを望む。		

授業計画 1 (歴史)		
週	テーマ	内容(目標, 準備など)
1	シラバスの説明・戦国時代	シラバスの説明をし、戦国時代の予備知識を問う。
2	戦国大名の登場(1)	いつ頃どこの国にどんな戦国大名がいたかを知る。
3	戦国大名の登場(2)	戦国大名の出目や家臣団の組織化について理解する。
4	戦国大名の登場(3)	家法や分国法の史料を読み、戦国大名の分国支配の様子について理解する。
5	戦国大名の登場(4)	堺や博多を中心とする都市の発展や、京の町衆のような都市市民の活動について理解する。
6	ヨーロッパ人の東アジア進出	スペイン・ポルトガルが中心となって大航海時代が始まり、中国・日本・朝鮮などにヨーロッパ人が参入する様子について理解する。
7	南蛮貿易とキリスト教	鉄砲伝来を中心とする南蛮貿易と、キリスト教伝来後の日本について理解する。
8	中間試験	1週目から7週目の内容について試験を行う。
9	中間試験の解答	中間試験の解答を通じて、これまでの知識を確認し、次のテーマに進む。
10	織田信長(1)	織田信長の全国統一課程を知る。
11	織田信長(2)	織田信長の性格を知り、斬新な政治とともに、本能寺の変が起きた理由を探る。
12	豊臣秀吉(1)	豊臣秀吉が全国統一事業をどのように完成させたか理解する。
13	豊臣秀吉(2)	史料「太閤検地」を読み、検地が後世に与えた影響について理解する。
14	豊臣秀吉(3)	史料「刀狩令」を読み、刀狩令が後世に与えた影響について理解する。
15	豊臣秀吉(4)	史料「バテレン追放令」を読み、秀吉の対外政策を知り、朝鮮侵略の無謀さを知る。
16	桃山文化	主な建築に城郭が加わった点など、桃山文化の特色を理解する。
17	町衆の生活・南蛮文化	富裕な町衆文化や、南蛮貿易によってもたらされた南蛮文化について理解する。
18	江戸幕府の成立・幕藩体制	関ヶ原の戦いや大坂の役を見て江戸幕府の成立を知り、史料「武家諸法度(元和令・寛永令)」を読み、幕府が諸大名を従わせる過程を見る。
19	幕府と藩の機構	幕府の職制や月番交代の制度を知り、藩では俸禄制度がとられ、職制が整備される様子を見る。
20	朝廷と寺社	史料「禁中並公家諸法度」から幕府の朝廷統制を知り、寺院法度・寺請制度などを通して、宗教や民衆を支配した様子を見る。
21	村と百姓	幕藩体制の基本となった本百姓体制(税・組織など)を理解する。
22	町と町人・身分秩序	城下町を中心に町と町人の様子を知り、近世社会の身分秩序を理解する。
23	中間試験	16週目から22週目の内容について試験を行う。
24	中間試験の解答	中間試験の解答を通じて、これまでの知識を確認し、次のテーマに進む。
25	初期の外交	江戸初期の朱印船貿易が盛んだった時代(慶長遣欧使節・日本町など)を知る。
26	鎖国政策(1)	キリスト教禁止から鎖国令がだんだん強化されていく様子を知る。
27	鎖国政策(2)	島原の乱を契機に鎖国を完成させた幕府が、更に統制力を強化することを理解する。
28	長崎貿易	オランダ・清との長崎貿易の様子を理解する。
29	朝鮮と琉球・蝦夷地	朝鮮・琉球・蝦夷地とは、江戸時代にどんな交易を行っていたかを知る。
30	寛永期の文化	元禄文化に先行する江戸初期の寛永期の文化について理解する。
備考	前期、後期ともに中間試験および定期試験を実施する。	